

# プログラム

9:00～9:05 開会の辞

笠師 久美子(北海道医療大学 薬学部薬学教育推進講座)

9:05～10:35 シンポジウム「症例に学ぶ、多職種連携」

座長：佐々木賢一(市立室蘭総合病院 外科・消化器外科)

松田 和也(札幌共立五輪橋病院 薬剤科)

1. 慢性腎臓病に対する栄養療法について～ 経腸栄養と高カロリー輸液療法 ～  
医療法人溪仁会札幌西円山病院 診療部内科  
小村 博昭
2. 慢性腎臓病に対する栄養療法(高カロリー輸液の症例)  
医療法人溪仁会手稲溪仁会病院 薬剤部  
小島 雅和
3. 慢性腎臓病に対する栄養療法～管理栄養士の立場から  
独立行政法人地域医療機能推進機構北海道病院 栄養管理部  
富永 史子
4. 高齢CKD患者に対するNST看護師の役割  
医療法人社団佳生会 こだま在宅内科緩和ケアクリニック  
小林やよい
5. 慢性腎臓病(CKD)の摂食嚥下障害  
独立行政法人地域医療機能推進機構北海道病院 リハビリテーション部  
城宝 深雪

10:40～11:15 一般演題1「調査報告」

座長：澤田 篤史(北海道医療大学 リハビリテーション科学部)

村松 博士(留萌市立病院 消化器内科)

6. 『笑顔食』プロジェクト 入院患者～地域へ  
動画配信による生活習慣病および低栄養予防、改善のためのアプローチ  
1北海道大学病院 栄養管理部、  
2北海道大学 産学・地域協働推進機構フード&メディカルイノベーション推進本部、  
3日立製作所、4北海道大学大学院 薬学研究院、5北海道大学大学院医学研究院 消化器内科  
○安念 明里<sup>1</sup>、池田 陽子<sup>1</sup>、加藤 ちえ<sup>1</sup>、坂田 優希<sup>1</sup>、吉田 ゆか<sup>1</sup>、西村 雅勝<sup>1</sup>、熊谷 聡美<sup>1</sup>、  
満園久美子<sup>2</sup>、吉野 正則<sup>2,3</sup>、武田 宏司<sup>4</sup>、坂本 直哉<sup>1,5</sup>

7. 入院患者の経口摂取可否の割合について

<sup>1</sup>社会福祉法人北海道社会事業協会岩内病院、<sup>2</sup>社会福祉法人北海道社会事業協会函館病院  
○西谷 淳<sup>1</sup>、山下 苗美<sup>2</sup>

8. 配膳方法の変更が嗜好調査・残菜量に与える影響について

<sup>1</sup>留萌市立病院 栄養管理科、<sup>2</sup>留萌市立病院 リハビリテーション科、<sup>3</sup>留萌市立病院 薬剤部、  
<sup>4</sup>留萌市立病院 看護部、<sup>5</sup>留萌市立病院 外科、<sup>6</sup>留萌市立病院 消化器内科、<sup>7</sup>留萌市立病院 NST  
○千葉 真司<sup>1,7</sup>、横山 直矢<sup>1,7</sup>、燕 瑞穂<sup>1,7</sup>、櫻庭 知世<sup>1,7</sup>、橋本るみ子<sup>1</sup>、平澤 竜也<sup>2,7</sup>、  
鷲見 宏樹<sup>3,7</sup>、太田 充<sup>4,7</sup>、星 智和<sup>5,7</sup>、村松 博士<sup>6,7</sup>

9. 超高齢胆石症患者の経口摂取確立因子についての検討

<sup>1</sup>JCHO 北海道病院 リハビリテーション科、<sup>2</sup>JCHO 北海道病院 耳鼻咽喉科、  
<sup>3</sup>JCHO 北海道病院 外科、<sup>4</sup>JCHO 北海道病院 NST  
○城宝 深雪<sup>1,4</sup>、難波 志奈<sup>1,4</sup>、太田 亮<sup>2,4</sup>、正村 裕紀<sup>3,4</sup>

10. 当院における中心静脈栄養患者に対する栄養指標・微量元素検査の現状

<sup>1</sup>札幌しらかば台病院 NST、<sup>2</sup>札幌しらかば台病院 内科・消化器科、  
<sup>3</sup>札幌しらかば台病院 脳神経内科  
○小日向真澄<sup>1</sup>、菊地 剛史<sup>2</sup>、星 百美<sup>1</sup>、松浦 洋介<sup>3</sup>、津田 玲子<sup>3</sup>、保月 隆良<sup>1,3</sup>、久保 俊之<sup>2</sup>、  
中村 浩子<sup>2</sup>、見田 裕章<sup>2</sup>、中村 正弘<sup>2</sup>、安達 靖代<sup>2</sup>、足立 靖<sup>2</sup>、吉田 幸成<sup>2</sup>、伴 紀宏<sup>2</sup>、  
遠藤 高夫<sup>2</sup>

11:20~12:02 一般演題 2「症例報告」

座長：七戸 俊明(北海道大学病院 消化器外科 II)  
早坂 敬明(北海道医療大学 薬学部実務薬学講座)

11. 短腸症候群合併維持透析患者における水分、カリウムコントロールの検討

(医)腎愛会だてクリニック 栄養科  
大里 寿江

12. 短腸症候群患者に対して多職種連携で栄養改善した1症例

<sup>1</sup>医療法人溪仁会手稲溪仁会病院 栄養部、<sup>2</sup>医療法人溪仁会手稲溪仁会病院 看護部、  
<sup>3</sup>医療法人溪仁会手稲溪仁会病院 薬剤部、  
<sup>4</sup>医療法人溪仁会手稲溪仁会病院 リハビリテーション部、  
<sup>5</sup>医療法人溪仁会手稲溪仁会病院 臨床検査部、<sup>6</sup>医療法人溪仁会手稲溪仁会病院 歯科口腔外科、  
<sup>7</sup>医療法人溪仁会手稲溪仁会病院 外科  
○佐藤 真鈴<sup>1</sup>、田中 智美<sup>1</sup>、岩沢健太郎<sup>2</sup>、小島 雅和<sup>3</sup>、木ノ下悠子<sup>4</sup>、田島 茂樹<sup>4</sup>、中静 久美<sup>5</sup>、  
小森 美香<sup>6</sup>、梅本 一史<sup>7</sup>、中村 文隆<sup>7</sup>

13. 空腸人工肛門造設症例に対して回腸瘻への腸液再注入を行った一例  
<sup>1</sup>旭川医科大学 消化管外科、<sup>2</sup>旭川医科大学 血管外科  
○大谷 将秀<sup>1</sup>、長谷川公治<sup>1</sup>、堀川 大介<sup>1</sup>、水上奨一朗<sup>1</sup>、武田 智宏<sup>1</sup>、大原みずほ<sup>1</sup>、谷 誓良<sup>1</sup>、  
北 健吾<sup>1</sup>、庄中 達也<sup>1</sup>、中津 知己<sup>2</sup>、角 泰雄<sup>1</sup>
14. 積極的な栄養療法と早期リハが奏効した喘息合併 COPD 増悪の1例  
<sup>1</sup>独立行政法人 JCHO 北海道病院 リハビリテーション部、  
<sup>2</sup>札幌医科大学大学院医学研究科生体機能制御医学(集中治療医学)、  
<sup>3</sup>独立行政法人 JCHO 北海道病院 栄養管理室・NST、  
<sup>4</sup>独立行政法人 JCHO 北海道病院 呼吸器センター  
○尾山 陽平<sup>1,2</sup>、瀧川 博子<sup>3</sup>、得能 理恵<sup>3</sup>、長井 桂<sup>4</sup>、巽 博臣<sup>2</sup>、升田 好樹<sup>2</sup>
15. 外来チームの栄養サポートで完全経腸栄養開始11年目も経過良好な、大動脈食道瘻術後摂食障害の1例  
<sup>1</sup>北海道大学大学院医学研究院 消化器外科学教室 II、<sup>2</sup>北海道大学病院 栄養管理部、  
<sup>3</sup>北海道大学病院 看護部、<sup>4</sup>北海道大学病院 NST  
○村上 壮一<sup>1,4</sup>、七戸 俊明<sup>1,4</sup>、田中 公貴<sup>1,4</sup>、浅野 賢道<sup>1,4</sup>、海老原裕磨<sup>1</sup>、倉島 庸<sup>1</sup>、  
中村 透<sup>1,4</sup>、吉田 ゆか<sup>2,4</sup>、熊谷 聡美<sup>2,4</sup>、金山真紀子<sup>3</sup>、川又万紗子<sup>3</sup>、松岡由希子<sup>3</sup>、  
安達 優子<sup>3</sup>、平野 聡<sup>1</sup>
16. 腹腹腔鏡下スリーブ状胃切除術後4か月でリバウンドを経験した一例  
<sup>1</sup>札幌医科大学附属病院 栄養管理センター、  
<sup>2</sup>札幌医科大学医学部 消化器・総合、乳腺・内分泌外科学講座、  
<sup>3</sup>札幌医科大学医学部 循環器・腎臓・代謝内分泌内科学講座  
○白石沙耶可<sup>1</sup>、伊東 竜哉<sup>2</sup>、古橋 真人<sup>3</sup>、仲 詩織<sup>1</sup>、末次 彩<sup>1</sup>、石原 悦菜<sup>1</sup>、茅原 悦子<sup>1</sup>、  
信岡 隆幸<sup>2</sup>

12:10~13:10 基調講演

「ICUとNSTをやってわかった栄養療法の重要性～Pre-nutrition」

座長：信岡 隆幸(札幌医科大学 消化器・総合、乳腺・内分泌外科学講座)

講師：巽 博臣(札幌医科大学 集中治療医学)

共催：株式会社大塚製薬工場

13:15~13:50 一般演題3 「NST」

座長：中村 誠志(札幌禎心会病院 消化器外科)

渡邊なつき(カレスサッポロ北光記念病院)

17. NST 実習でのカンファレンス参加時期と栄養療法に対する意識調査

<sup>1</sup>北海道大学病院 薬剤部、<sup>2</sup>北海道大学病院 NST

○巽 道代<sup>1</sup>、片山 真育<sup>1</sup>、渡辺 祐子<sup>1</sup>、平井 志明<sup>1</sup>、本田 愛子<sup>1</sup>、七戸 俊明<sup>2</sup>、武隈 洋<sup>1</sup>、菅原 満<sup>1</sup>

18. 褥瘡 ～NST 介入症例報告

<sup>1</sup>医療法人社団慶友会吉田病院 栄養課、<sup>2</sup>医療法人社団慶友会吉田病院 薬剤課、

<sup>3</sup>医療法人社団慶友会吉田病院 看護部、<sup>4</sup>医療法人社団慶友会吉田病院 リハビリテーション課

<sup>5</sup>医療法人社団慶友会吉田病院 医局

○阿部 孝枝<sup>1</sup>、吉松亜希子<sup>2</sup>、森 千秋<sup>3</sup>、及川 佳澄<sup>4</sup>、山崎 弘貴<sup>5</sup>、馬場 勝義<sup>5</sup>

19. 当院における栄養サポートチーム専門療法士(NST 専門療法士)臨床実地修練開催の経験と課題

<sup>1</sup>留萌市立病院 外科、<sup>2</sup>留萌市立病院 NST、<sup>3</sup>留萌市立病院 内科

○星 智和<sup>1,2</sup>、千葉 真司<sup>2</sup>、鷲見 宏樹<sup>2</sup>、太田 充<sup>2</sup>、平澤 竜也<sup>2</sup>、村松 博士<sup>2,3</sup>

20. NSTにおける理学療法士の役割

<sup>1</sup>札幌医科大学附属病院 リハビリテーション部、<sup>2</sup>札幌医科大学医学部 集中治療医学

○宮城島沙織<sup>1</sup>、池田 祐真<sup>1</sup>、清藤 恭貴<sup>1</sup>、山口 亨<sup>1</sup>、巽 博臣<sup>2</sup>

21. 早期栄養介入管理加算導入前後におけるICU入室後の栄養開始時間の比較

<sup>1</sup>札幌東徳洲会病院 栄養科、<sup>2</sup>札幌東徳洲会病院 薬剤部、

<sup>3</sup>札幌東徳洲会病院 リハビリテーションセンター、<sup>4</sup>札幌東徳洲会病院 看護部、

<sup>5</sup>札幌東徳洲会病院 救急センター、<sup>6</sup>札幌東徳洲会病院 救急集中治療センター

○藤田 絵里<sup>1</sup>、周東珠莉亜<sup>1</sup>、伴 萌<sup>2</sup>、熊坂雄一郎<sup>2</sup>、佐藤 祐介<sup>3</sup>、神崎めぐみ<sup>4</sup>、佐藤 洋祐<sup>5</sup>、丸藤 哲<sup>6</sup>

13:55～14:55 教育セミナー

「モノからヒトへ～一歩踏み込んだ服薬支援～」

座長：笠師久美子(北海道医療大学 薬学部薬学教育推進講座)

講師：倉田なおみ(昭和大学 薬学部社会健康薬学講座 社会薬学部門)

共催：協和化学工業株式会社

15:00～15:35 一般演題 4 「がん」

座長：岡本 智子(札幌保健医療大学 保健医療学部栄養学科)

中村 文隆(手稲溪仁会病院 外科)

22. 進行食道癌に対し栄養管理を行った2症例報告

<sup>1</sup>市立室蘭総合病院 NST、<sup>2</sup>市立室蘭総合病院 栄養科

○早坂ゆかり<sup>1,2</sup>、関川 由美<sup>1,2</sup>、平岡 彩子<sup>1,2</sup>、林 元子<sup>1,2</sup>、星野 裕子<sup>1,2</sup>、城前有紀乃<sup>1,2</sup>、  
浅野由美子<sup>1</sup>、古内久美子<sup>1</sup>、吉田 倫子<sup>1</sup>、横田 奏平<sup>1</sup>、前田有一郎<sup>1</sup>、宇野 智子<sup>1</sup>、小野寺 馨<sup>1</sup>、  
佐々木賢一<sup>1</sup>

23. 多職種でのチーム活動により栄養状態の改善が得られた甲状腺癌の一例

<sup>1</sup>JR 札幌病院 栄養管理室、<sup>2</sup>JR 札幌病院 消化器内科、<sup>3</sup>JR 札幌病院 歯科口腔外科、

<sup>4</sup>JR 札幌病院 看護部、<sup>5</sup>JR 札幌病院 薬剤科、<sup>6</sup>JR 札幌病院 リハビリ室、

<sup>7</sup>JR 札幌病院 臨床検査室、<sup>8</sup>JR 札幌病院 NST、<sup>9</sup>JR 札幌病院 摂食嚥下チーム、

<sup>10</sup>JR 札幌病院 緩和ケアチーム、<sup>11</sup>JR 札幌病院 褥瘡チーム

○谷口香奈子<sup>1,8</sup>、安達 雄哉<sup>2,8</sup>、北川 栄二<sup>3,8,9</sup>、鈴木 彩香<sup>1,11</sup>、奥村紀美恵<sup>4,8,11</sup>、工藤 育恵<sup>6,8</sup>、  
池畑 和浩<sup>5,8</sup>、外山 智貴<sup>7,8</sup>、佐藤奈緒美<sup>4,10</sup>

24. 早期からの栄養介入により根治的放射線治療を完遂できた高齢女性の1症例

<sup>1</sup>札幌医科大学附属病院 栄養管理センター、<sup>2</sup>札幌医科大学附属病院 NST

○石原 悦菜<sup>1,2</sup>、茅原 悦子<sup>1</sup>、白石沙耶可<sup>1,2</sup>、石崎 千順<sup>2</sup>、川村 明子<sup>2</sup>、大原 雄希<sup>2</sup>、水野 愛理<sup>2</sup>、  
伊東 竜也<sup>2</sup>、秋月 恵美<sup>2</sup>、井山 諭<sup>2</sup>、原田 敬介<sup>2</sup>、信岡 隆幸<sup>2</sup>

25. 高齢者胃癌症例における術前 CONUT 値の予後指標としての有用性

<sup>1</sup>札幌医科大学 消化器・総合、乳腺・内分泌外科、<sup>2</sup>札幌医科大学 集中治療医学

○伊東 竜哉<sup>1</sup>、信岡 隆幸<sup>1</sup>、三浦 亮<sup>1</sup>、秋月 恵美<sup>1</sup>、巽 博臣<sup>2</sup>、竹政伊知朗<sup>1</sup>

26. 造血幹細胞移植における体重変化の推移について

<sup>1</sup>北海道大学病院 栄養管理部、

<sup>2</sup>北海道大学大学院歯学研究院 口腔健康科学分野高齢者歯科学講座、

<sup>3</sup>北海道大学病院 血液内科

○池田 陽子<sup>1</sup>、熊谷 聡美<sup>1</sup>、松下 貴恵<sup>2</sup>、後藤 秀樹<sup>3</sup>

15:40~16:01 一般演題5「COVID-19」

座長：近江 令司(総合病院釧路赤十字病院 薬剤部)

原田 敬介(札幌医科大学附属病院 高度救命救急センター)

27. 新型コロナウイルス感染症患者の重篤度分類を用いた栄養評価のメタ解析

北海道医療大学 薬学部実務薬学講座実務薬学教育研究

○早坂 敬明、佐々木 樹、菅原 隆希

28. 重症 COVID-19 に対する人工呼吸器装着下で経口摂取が可能となった症例

<sup>1</sup>札幌医科大学附属病院 リハビリテーション部、<sup>2</sup>札幌医科大学医学部 集中治療医学、

<sup>3</sup>札幌医科大学医学部 救急医学講座、<sup>4</sup>札幌医科大学附属病院 看護部、

<sup>5</sup>札幌医科大学医学部 リハビリテーション医学講座

○黒川 翔<sup>1</sup>、巽 博臣<sup>2</sup>、清藤 恭貴<sup>1</sup>、若松 千裕<sup>1</sup>、宮城島沙織<sup>1</sup>、原田 敬介<sup>3</sup>、高橋科那子<sup>3</sup>、  
船水 良太<sup>4</sup>、石合 純夫<sup>5</sup>

29. COVID-19 における予後と栄養指標の関係

<sup>1</sup>医療法人社団洞仁会洞爺温泉病院 NST、<sup>2</sup>医療法人社団洞仁会洞爺温泉病院 診療部

○山浦 由紀<sup>1</sup>、浅利亜由美<sup>1</sup>、水谷 一寿<sup>1</sup>、増田 広江<sup>1</sup>、橋本 美紀<sup>1</sup>、塚原 夏輝<sup>1</sup>、青木 美薫<sup>1</sup>、  
上田 修<sup>1,2</sup>、渡久山 晃<sup>1,2</sup>、中谷 玲二<sup>2</sup>

16:01~16:05 次期大会長挨拶

藤本 篤士(医療法人溪仁会札幌西円山病院 歯科)

16:05~16:10 閉会の挨拶

笠師 久美子(北海道医療大学 薬学部薬学教育推進講座)

処方箋医薬品\* 薬価基準収載

アミノ酸・糖・電解質・脂肪・水溶性ビタミン液



\*注意—医師等の処方箋により使用すること



◇効能又は効果、用法及び用量、禁忌を含む  
使用上の注意等は、製品添付文書をご参照ください。



製造販売元 株式会社大塚製薬工場 徳島県鳴門市撫養町立岩字芥原115

販売提携 大塚製薬株式会社 東京都千代田区神田司町2-9

文献請求先及び問い合わせ先  
株式会社大塚製薬工場 輸液DIセンター  
〒101-0048 東京都千代田区神田司町2-2

<'21.03作成>

# 生命のリレー

善意の献血に支えられた、生命のお薬。  
 皆さまの温かい想いが込められた大切なバトンを、  
 必要とされる人たちへ、私たちがしっかりとつなぎます。



善意と医療のかけ橋

一般社団法人  
**JB** 日本血液製剤機構

東京都港区芝浦3-1-1

<https://www.jbpo.or.jp>

JB-202007



## WISM 21は、21世紀の医療をトータルでサポートし、お客様のニーズと共に成長するシステムです。

病院の近代化が進むなか、取り巻く環境が厳しさを増しつつある医療施設において、WISM21は医療の変化に対応すべく、お客様のためにご用意させていただいた医療総合支援システムです。必要な時に必要なシステムを選び、ご利用ください。

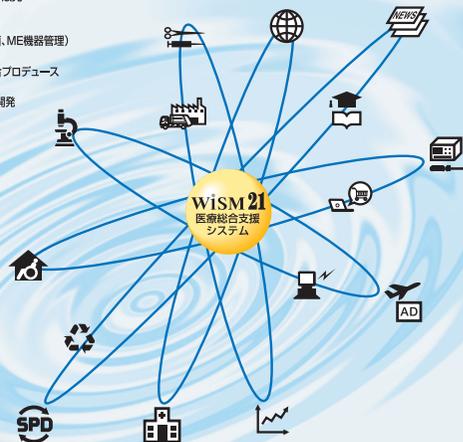
- 医療機器の販売
- 理化学機器の販売
- 在宅医療・福祉用具の販売
- 開業医向けインターネット販売
- 中古医療機器の買取・販売
- 病院管理業務の受託 (SPD、購買代行、滅菌、ME機器管理)
- 医療機器の設置・メンテナンス・保守契約
- 最新医療情報の提供
- 病院新築・改築の総合プロデュース
- コンサルティング (経営分析・診断改善・人材育成)
- 医療廃棄物処理
- 情報システムの提案・開発
- 貿易 (輸入代行含む)
- 学会イベントの企画・運営
- 旅行・広告代理業

総合医療機器商社

**WISM 株式会社 ムトウ**

取扱品目 医療機器・理化学機器・ME機器・病院設備  
 放射線機器・メディカルコンピューター・貿易業務・歯科機器  
 福祉機器・介護用品

- 札幌本社(北海道事業本部) / 〒001-0011 札幌市北区北11条西4丁目1番15号  
TEL 011-746-5111
- 東京本社(東京事業本部) / 〒110-8681 東京都台東区入台1丁目19番2号  
TEL 03-3874-7141
- 名古屋支社(名古屋事業本部) / 〒465-0014 名古屋市中区上三軒2丁目1108番地  
TEL 052-799-3011
- 大阪支社(大阪事業本部) / 〒537-0002 大阪市東成区深江南2丁目13番20号  
TEL 06-6974-0550
- 福岡支社(福岡事業本部) / 〒812-0044 福岡市博多区千代4丁目29番27号  
TEL 092-641-8161



支店 / 札幌中央・札幌西・札幌白雲・新札幌・旭川・函館・釧路・帯広・北見・遠軽・八雲・室蘭・苫小牧・日高・小樽・千歳・岩見沢・空知・名士・稚内・青森・秋田・仙台・いわき・群馬・栃木・白立・水戸・鹿沼・茨城・熊谷・埼玉・埼玉中央・所沢・足立・越谷・東京西・本郷・城北・城西・城南・城東・多摩・多摩西・武蔵野・練馬・柏・千葉西・千葉・鴨川・神奈川・横浜・横須賀・川崎・川崎北・相模・成田・名古屋南・伊勢志摩・三重・北勢・北大阪・南大阪・西大阪・奈良・広島・鳥取・島根・小倉・飯塚・筑豊・大川・久留米・佐賀・大牟田・唐津

<https://www.wism-mutoh.jp/>

栄養の力で  
Recovery Journeyを  
サポートする。

HIGH  
ENERGY

WHEY  
PEPTIDE

ネスレ日本株式会社  
ネスレ ヘルスサイエンス カンパニー  
〒140-0002 東京都品川区東品川 2-2-20  
http://www.nestlehealthscience.jp/  
©登録商標



 **Nestlé**  
HealthScience®

**PEPTAMEN®**  
**STANDARD**  
スタンダード

## 漢方は、自然から。

漢方は、たくさんの人の手と想いを経て生まれます。

長い年月をかけて、樹木が豊かな山を育み、その山で水が蓄えられる。

山で磨かれた水が、生薬をつくるための畑に注がれ、  
生産農家のみなさんによって大切に育てられる。

人が本来持っている自然治癒力を高め、生きる力を引き出すことを目的とした  
漢方にとって、「自然」はいのちを強くする力そのものです。

その力をそこなうことなく、すべての人が受け取れる形にして届けたい。  
そして健康に役立ててほしい。

100年以上、自然と向き合いつづけてきた私たちツムラの願いです。

自然と健康を科学する。漢方のツムラです。

 **ツムラ**

[www.tsumura.co.jp](http://www.tsumura.co.jp)

資料請求・お問い合わせは、お客様相談窓口まで。

[医療関係者の皆様] 0120-329-970 [患者様・一般のお客様] 0120-329-930  
受付時間 9:00~17:30(土・日・祝日は除く)



# セーフテック® 経腸栄養ポンプ2 EP-N31-2



## カラー液晶パネルの採用

- ・視認性の向上
- ・残時間機能など、液晶画面を利用した機能を多数搭載

## フリーフロー防止

### クランプリング®システムの採用

- ・ドアの開閉と連動しローラークランプを開閉
- ・ローラークランプの利用により、ランニングコストを削減



医療機器承認番号：30200BZX00036000  
 販売名：セーフテック経腸栄養ポンプ2  
 型式：EP-N31-2  
 医療機器クラス分類：クラスⅢ（高度管理医療機器）特定保守管理医療機器

資料請求先



販売 ニプロ株式会社  
 大阪市北区本庄西3丁目9番3号

製造販売 ノーリツプレジジョン株式会社  
 和歌山市梅原579-1

セーフテック®、クランプリング®はニプロ株式会社の登録商標です。

2021/04/1

液状濃厚流動食

# サンエット® K2 新発売

日本初! テトラ・プリズマ® ボトル入り

開封しやすく便利なデュアルユース容器

ニュートリーの技術と知見を結集した  
栄養組成

コラーゲンペプチド/乳酸菌(加熱殺菌菌体):E.フェカリス/  
 L-カルニチン/パラチノース/ガラクトオリゴ糖/  
 グァーガム分解物/卵黄レシチン

「テトラ・プリズマ」は、テトラパックグループの登録商標です。



革新的な濃厚流動食、誕生。  
 容器と栄養組成を究めた



NÜTRI: ニュートリー株式会社

本社 / 〒510-0013 三重県四日市市富士町1-122

<https://www.nutri.co.jp>

お問い合わせ先 TEL.0120-219-038

2020年4月作成 [58-0177]



願いをこめた新薬を、  
世界のあなたに届けたい。

「病気と苦痛に対する人間の闘いのために」  
わたしたちは、新薬の開発に挑み続けます。  
待ち望まれるくすりを、一日でも早くお届けするために。

**ONO** 小野薬品工業株式会社



NUTRITION



バニラ味 コーヒー味 メロン味 黒糖味 バナナ味 ストロベリー味 抹茶味

※味の違いは香料によるもので、本剤にはバニラ、コーヒー、メロン、黒糖、バナナ、ストロベリー、抹茶などの成分は含まれておりません。

製造販売元

**アボットジャパン合同会社**

東京都港区三田三丁目5番27号

製造元

**株式会社 明治**

【資料請求先】アボットジャパン合同会社 お客様相談室 フリーダイヤル **0120-964-930**

経腸栄養剤(経口・経管両用)

薬価基準収載

**インシュア・H<sup>®</sup>**

「効能・効果」、「用法・用量」、禁忌を含む「使用上の注意」等  
については製品添付文書をご参照ください。

2020年1月作成

明日をもっとおいしく  
**meiji**

MEIJI  
NUTRITION  
FACTORY

明治  
**メイバランス**

**ぎゅっとMini**

100mlタイプが  
新登場!



200kcal/100ml ※



亜鉛2.0mg ※



たんぱく質7.5g ※



食物繊維2.5g ※

※1本(100ml)当たり

株式会社 明治

明治ニュートリションインフォ

<https://www.meiji.co.jp/meiji-nutrition-info/>

